

## 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

### (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

＜地域代表（4名）＞  
 公民館長、自治振興会会長、体協会長、主任児童委員  
 ＜家庭代表（4名）＞  
 小中 PTA 会長・副会長、  
 ＜幼稚園・保育園（2名）＞  
 幼稚園後援会長、保育園長  
 ＜小学校（3名）、中学校（4名）＞  
 小中学校長・教頭・教務主任・中学校生徒指導主事

地域コーディネーター(2名)  
 地区自治振興会事務局長、青少年育成部会長

### (2) 協議会の内容

※開催回数…3回  
 ※開催日程  
 令和元年6月6日（木）19:00～  
 令和元年11月13日（水）15:30～  
 令和2年3月3日（火）19:00～  
 ※協議内容  
 ・学校運営方針や教育活動の説明と意見交換  
 ・授業の参観、小中連携の進め方の意見交換  
 ・学校評価に対する意見交換、次年度への課題  
 ・部活動数削減・適正化に向けての意見交換

### (3) 協議会における成果と課題

昨年度から取り組んでいる「地域と進める体験推進事業」について地区の方々から様々なご意見をいただいた。生徒たちが地区の行事に参加することは、地域の活動が盛り上がり非常にありがたいという意見が多く、今後も継続していけるように工夫して取り組む必要がある。

また、自治振興会から王子保地区に防犯カメラを設置するというので、生徒の登下校で危険な場所や不審者が過去に出没した場所などを協議会で話し合い候補地を挙げ、実際に現地に行って設置場所を決定した。このように学校と地域が一体になって、生徒の安全について考える良い機会になり、今後も様々な場面で協力する必要性があると再認識した。

## 2 地域と進める体験活動

### (1) 活動のねらい

本校は、昨年度から「地域と進める体験推進事業」の指定を受けて、昨年度は「地域の祭りを盛り上げよう」というテーマのもと、地域の夏祭りで3年生が生徒主催のコーナーを企画し、生徒が主体的にイベントの運営に関する活動を行った。今年度は、昨年度の反省や課題をふまえて各学年単位で地域のイベントに対して企画・運営する機会を設け、より多くの生徒が地域と触れ合い、「ふるさとおうしお」に誇りや愛着を持つ活動になるように主眼をおいて実施した。

### (2) 活動の実際

#### ① おうしお夏祭りへの参加と企画の提案・運営（3年生）

3年生の実行委員53名の生徒が集まり、8月3日（土）に開催される「おうしお夏祭り」を盛り上げるため地域住民が誰でも参加できる企画について検討した。今年も、地域資源の水路を使った大規模なものにしようと、アヒルのおもちゃのかわりに、軟式野球のボールを使うダックレース「六中M-1 RACE グランプリ」を企画した。これは、公民館前の水路にエントリーした番号付きの軟式野球ボールを流し、順位を競い表彰するものである。実行委員は、6月中旬から活動を開始し、チラシやエントリーカードを作ったり、ボールに番号を書いたりと準備してきた。放課後は部活動で時間がとれないため、朝や昼休みの時間を利用して活動した。また、地域の方々にも、実現に向けてのアドバイスや水門の調節など多大な協力をいただいた。当日のイベントは大変盛り上がった。



## ② 地区文化祭への参加と企画の提案・運営（2年生）

10月27日（日）王子保小学校体育館で王子保地区敬老会文化祭が開催され、六中の2年生がほぼ全員参加した。昨年までは合唱の発表だけだったが、今年は合唱の他にゲームコーナーを設けて小さい子に楽しんでもらったり、たこ焼きやぜんざいの販売を手伝ったりするなど、地域の方々とより多く触れ合った。合唱では、2年生の代表の生徒が「今まで14年間、私たちは地域の方に育てられてきました。その地域の方々に感謝の気持ちを込めて、東日本大震災復興のために作られた『花は咲く』を歌います。」と挨拶し、きれいなハーモニーを体育館中に響かせた。歌い終わると生徒一人一人が客席に降りていき、持っていた花を感謝の気持ちを込め敬老会の方々に手渡した。合唱終了後は、ゲーム担当と販売担当に分かれ、それぞれの活動を行った。活動後には、「少しでも地域の役に立つことができました。」と感想を書いている生徒が多かった。



## ③ 王子保駅のイルミネーションのデザイン制作と設置（1年生）

1年生と地区青少年育成部の方々が協力し、イルミネーションのデザインから制作と一緒に取り組み、12月1日（日）王子保駅でイルミネーション点灯式が行われた。吹奏楽部の1年生有志によるプチ演奏会も行われ、点灯式を盛り上げた。その後、王子保小学校の「こども駅長さん」によるイルミネーション点灯が行われ、越前市のマスコットキャラクター「きくりん」も参加して、ぼのぼのとした点灯式となった。



## （3）地域コーディネーターの活動概要

自治振興会事務局長は、「おもしろ夏祭り」の実行委員をされているため、3年生の企画・運営の段階から協力・支援していただいた。青少年育成部会長には、1年生のイルミネーションの制作や点灯式での運営などで指導していただいた。

## （4）特に工夫した事項

- ・今年度は、各学年単位で地域の取組に参加したので、生徒の企画や運営、当日の指導などもスムーズに行うことができた。また、地域との協力体制も2年目ということで、地域のコーディネーターの方と連携を密にとることができ、内容のある活動になった。
- ・今年度は、活動に対して教員の参加をなるべく少なくし、地区の方に指導していただくようにし、教員の負担を減らしていくように計画した。

## （5）成果と課題

今年度は、2年目ということで昨年度の課題や反省をふまえながら実施したため、いろいろな面で成果がみられた。それぞれの学年がいろいろな地域の行事に参加したことで、本校での地域に参加する活動の流れができ、系統的に取り組むことができるようになったことは非常に大きな成果である。学年の担当者が今年度取り組んだ内容をまとめ、その成果や課題を次の学年担当者に引き継ぐことができるようになった。また、各学年で取り組んだことによって、より多くの生徒が参加することになり、地域のことを考える貴重な体験として捉えることができていた。

課題としては、地域との打ち合わせなどの会議の時間がなかなか持てなかったことがある。しかし、打ち合わせをメールや電話などを使って行うことによって、改善することができるのではないと思われる。今後、地域の教育力にゆだねる部分と教員が指導しなければならない部分を地域コーディネーターと相談しながら分担し調整していくことで、地域との有効な事業として継続していけるとと思われる。地域の方からは「来年もぜひきてくださいね。」という声をいたるところで聞くことができた。ぜひ、地域とともに生徒を育成する活動として続けていきたい。